



NPO 法人グリーンズ × 株式会社 invox

## NPO 法人グリーンズ×株式会社 invox、企業が地域の環境再生を支援する「流域再生支援プログラム」を開始

～初年度は兵庫・対馬・屋久島の3団体を支援、2027年度以降は公募を予定～

NPO 法人グリーンズ（所在地：東京都千代田区、共同代表：鈴木菜央・植原正太郎・増村江利子、以下「グリーンズ」）と株式会社 invox（本社：東京都新宿区、代表取締役：横井朗、以下「invox」）は、日本全国で流域再生をはじめとする環境再生に取り組む個人・団体を支援するプログラムを2026年7月より開始します。

本プログラムは、森・川・海をつなぐ「流域」という視座のもとに、自然環境の再生や持続可能な地域づくりに取り組む個人・団体を支援します。農林水産業の再生、里地・里山・里川・里海の保全、水源地の保護、生物多様性の回復、風土に根ざした地域経済づくりなど、地域の知恵と実践に根ざした活動を対象とします。流域再生のモデルケースとなる取り組みを応援します。

本プログラムは両社の協業としてスタートしますが、将来的には企業が地域や環境問題に取り組みやすい仕組みへと発展させることを目的としています。初年度となる2026年度は3団体の支援を決定しました。2027年度以降は公募形式での支援を予定しています。

## ■ 背景と目的

日本各地では、森・川・海をつなぐ「流域」という視座のもとに、自然環境の再生や持続可能な地域づくりの動きが生まれています。しかし、行政区画を超えたステークホルダーの巻き込みや、漁業・農業・林業など幅広い領域の連携が必要な流域再生の取り組みは、資金・組織・専門知識の不足が活動の持続・拡大のハードルになっている状況もあります。

一方、企業側では社会課題や環境問題への貢献意欲が高まっているものの、「何から始めればよいかわからない」「現場の団体とつながる手段がない」という声も多く、支援の仕組みが整っていないことが課題となっています。

こうした課題に対し、グリーンズと invox は、それぞれの強みを持ち寄ることで、環境再生に取り組む人々をより実効的に支援するとともに、企業が社会・環境に関わる課題解決に参画しやすい仕組みを構築することを目指し、本プログラムの立ち上げに至りました。

特に、森・川・海をつなぐ「流域」という視点から、人と自然の関係をもう一度結びなおし、その土地本来のすこやかさを取り戻すことを目的とし、日本全国の地域で活動する市民や団体を応援しながら、自然環境の再生とともに、社会と私たち自身を再生することを目指します。

## ■ 両社が提供するもの

NPO 法人グリーンズ	環境・社会課題に関する長年の知見、自治体・地域のステークホルダーとの事業立ち上げ・伴走のノウハウ、専門家・会員などのネットワーク、活動の取材・発信
株式会社 invox	事業開発のノウハウ、活動資金

## ■ 2026 年度 支援先（初年度）

初年度は、以下の3団体を支援対象として活動を開始します。

### ① ひょうご流域再生ラボ（兵庫県・神戸市）

神戸市の中心部に近い和田岬周辺の地域で、主に船曳き網漁などを行う漁業者を中心に、運河の環境改善や保護に取り組む人や地域で活動するクリエイターの集まりです。

豊かな里海を未来に残していくことを目指して、アサリの放流やアマモなど海藻類が生える藻場の整備などに取り組んでいる運河を中心に、里山エリアとも交流しながら、子どもたちが流域全体で環境について学べる機会をつくらうとしています。

URL：<https://hyogocanalproject.site>

### ひょうご流域再生ラボ Hyogo Regenerative Basin Lab



## ② 一般社団法人 対馬里山繋営塾（長崎県・対馬）



成に取り組ん

自然の仕組みを熟知し、そこから恵みを頂いてきた人々の営みを作り出す「里山」という環境。長い歴史の中で培われてきた、自然と共にある人々の営みを後世へと繋ぐことを使命として、グリーンツーリズム、エコツーリズム、そしてそれらを手法とした教育活動を通じて、持続可能な地域づくりや人材育てています。

URL : <https://www.satoyama-keieijuku.com>

## ③ 屋久島山岳ガイド連盟（鹿児島県・屋久島）

屋久島町条例に基づく「屋久島公認ガイド」の山部門会員を中心に2015年に設立。エコツーリズムを理念とし、個々のガイドでは為し得ることができない“環境保全”・“地域振興”・“観光振興”に取り組む、自然環境や地域文化を未来へつなぐ活動を行っています。

2021年からは近自然工法による登山道整備にも携わり、行政や民間企業と協力して、山岳環境の保全にも力を注いでいます。



URL : <http://yaku-ren.com/>

## ■ 支援の2つのステージ

本プログラムでは、支援先の状況に応じて2つのステージを設定しています。

### ◎ シード期

流域再生に関わる活動のビジョンを持っており、その活動の仕組みが画期的かつナレッジとしての価値があることが認められるものの、事業立ち上げに向けては計画策定や体制構築などの支援を必要としている個人・団体を対象とします。仮説検証や事業計画の策定から伴走し、活動を組織・事業として立ち上げる土台づくりを支援します。

### ◎ 活動期

策定した計画に基づき、組織・事業として活動を開始している団体を対象とします。活動資金の提供、専門家ネットワークの活用、活動の発信など、活動の継続・拡大に必要なリソースを包括的に支援します。

## ■ 今後の展開

本プログラムは、両社での連携を出発点としながら、将来的にはより多くの企業が地域の環境再生に参画できる仕組みへと拡大することを目指しています。2027年度以降は公募形式での支援団体の募集を予定しており、企業・団体からの参加・協賛についても検討を進めていく計画です。

## ■ コメント

---

### NPO 法人グリーンズ 共同代表 植原正太郎

森、里、川、海。私たちの社会が成長と効率を求めていった結果、あるべき繋がりが失われていきました。森は荒れ、川は氾濫し、海は貧しくなっています。しかし、人が手を入れることで健全な関係性を取り戻すことができます。inboxさんと連携する今回のプログラムによって、全国で流域再生に取り組む団体の皆さんをバックアップしながら、希望を生み出したいと思います。諦めるにはまだ早い。

### 株式会社 inbox 代表取締役 横井朗

私たちは「事業を通じて子どもたちが生きる未来を明るくする」という目標を掲げて事業を運営しています。今回のグリーンズさんとの取り組みも、その実現に向けた一歩です。企業活動によって生まれる経済的な価値が、社会的な価値のある活動とつながり、その活動がまたより良い企業や社会を育てる、そんな循環の仕組みをグリーンズさんとともに形にしていきたいと考えています。

## ■ 各団体概要

---

### NPO 法人グリーンズ

NPO 法人グリーンズは、「いかしあうつながりがあふれる幸せな社会」を目指す非営利組織です。人と人、人と自然の関係をデザインし直すことが、これからの社会には必要です。そのために WEB マガジン「greenz.jp」の運営、「リジェネラティブデザインカレッジ」をはじめとする環境教育プログラムの提供、採用&キャリア支援事業「WORK for GOOD」などの取り組みを通じて「個人の変容と実践」を応援しています。

団体名：特定非営利活動法人グリーンズ  
設立：2006年7月（2012年2月にNPO法人化）  
代表理事：鈴木菜央、植原正太郎、増村江利子  
URL：<https://greenz.jp/>

### 株式会社 inbox

株式会社 inbox は「事業を通じて子どもたちが生きる未来を明るくする」ことを目指し、経理業務の自動化を通じて蓄積したデータを活用して事業価値を向上する「inbox」シリーズを開発・運営しています。創業当初から「値上げしない方針」を貫き、価格を抑えて誰もが気軽に利用できるソリューションの提供により社会全体の生産性を高め、豊かで持続可能な社会の実現を目指しています。

会社名：株式会社 inbox  
設立：2019年2月1日  
代表者：代表取締役 横井朗  
URL：<https://inbox.co.jp>

## ■ 本件に関するお問い合わせ

---

### NPO 法人グリーンズ

流域再生支援プログラム担当 中間 愛美

E-mail : ryuiki@greenz.jp

### 株式会社 invoX

広報担当

E-mail : pr@invox.jp